

新宮山彦ぐるーぷ第2257回

龍仙山（南伊勢町 402m）登山

◇実施日 10月7日（土） 晴

◇参加者 沖崎吉信、湯川一郎、濱野兼吉、阪口雄二、中前偉、西克、梶野照雄、大江加予子・徳子、畑林清子、高階美根子 11名

今年の1月9日、10日に新十二支会の例会が長野県飯田市近郊の卯月山で行われたが、その前夜祭で堀会長から「来年は伊勢の龍仙山で行う。については山彦さんに下見をお願いしたい。」との依頼があった。そのため、下見山行を10月か11月に実行しようと考え、山彦の10月行事として皆さんにお知らせし、11名の参加で実行した。



駐車場を出る



舗装道を歩く



神籠石の案内

過去の十二支会例会の記録を調べてみると一度だけこの南伊勢町の龍仙山に登っている。第41回（4巡目の第5回）2000年（平成12年）1月に行われ、当ぐるーぷからは玉岡、山上、大江夫妻、戸石の5名が参加、総勢83名で大盛会だったようだ。さて7日朝、新宮組8名は6時45分に沖崎、大江の2車で出発。

予定通り1時間15分で長島、道の駅まんぼうに着いて西、高階両氏と合流、さらにその先も予定通り走行して、1時間で集合場所の町立南伊勢病院の駐車場に着いた。着いてはみたが何かおかしい。海岸線に近い駐車場も狭い。湯川君が事前に調べてくれた漢字とは違う。梶野君に電話をしたら、病院の玄関前駐車場で待っているという。

この病院には旧館と新館があって、我々は旧館をナビに登録していたようだ。すぐに新館に向かい3〜4分で梶野君と合流した。病院北側の広い駐車場に移動し、午前9時30分に歩き始めた。右上方に見える焼却場を見送り山腹に沿って伸びる舗装道路を歩く。右手は自然林、左手の南向き斜面にはミカン畑が点在している。このミカン畑のために舗装された農道が整備されているようだ。しばらく歩くと大きなコンクリート製のため池があった。山頂からの下山路にも同じようなため池が複数あり、かつてはミカン畑の灌漑用に使われていたのだろうが、現在は機能していないようだ。

舗装された農道から右手の未舗装作業道に入る。少し先に神籠石の説明板がある。ストーンサークルのように並べられた石が見えるが、何時、誰が、何のために並べたのか。色々な説があるようだが、時代も性格も全て謎に包まれているようだ。

10分ほど歩くと作業道を外れて山道に入る。ここまで要所々に

オレンジの標識が立てられていた。山道に入ると等高線に直角の登りとなる。ウバメガシの落ち葉が積もって大変滑りやすい。足元を注意しながらジグザグに登ってやっと山頂に着いた。



ここから山道に入る

龍仙山山頂

五ヶ所湾

山頂からは360度の素晴らしい眺望が望め、絵にかいたような眺めだ。南には五ヶ所湾と太平洋が、北には牛草山や大台、鈴鹿の山々が見渡せる。標高がそれほど高くないので地上部がはつきり見え、病院駐車場に停めた車も確認できた。

山頂にかける万歳、を行い昼食タイム。風は無く日差しもあつて暖かい。山頂に大日如来、役行者、不動明王の像があるはずだが、大日如来しかいなかった。

山頂に40分ほど滞在して下山する。帰り道は反対方向、船越地区への道を辿る。4分位で鳥居が現れその先に役行者と不動明王が祀られていた。大きな石板を組んで作った祠の中に石像が置かれている。かなり古いもので、ここが信仰と修験の山であることを証して

いる。



本日の参加者



鳥居が現れる



不動明王石像

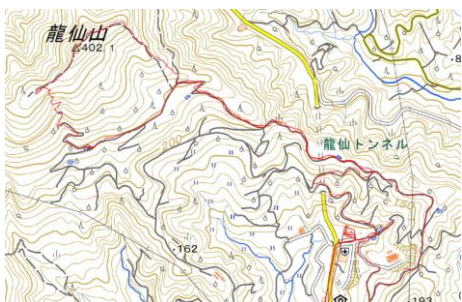
ここからは尾根を離れて下る一方になる。道幅も広く整備もされている。標識に本道と書かれているように、このルートが参詣道としてのメインルートだろう。

1月の新十二支会例会でもこのルートを使つてのピストンを提案したい。

中前君は今日ややお疲れのようで、舗装路に出たところで沖崎、阪口、中前の3名が待機し、徳子ちゃんのお迎えで病院駐車場に戻った。

帰り道、梶野君が船越の登山口で写真を撮っている、地元の高齢女性が話しかけてきて約30分話をしたそうだ。女性のご主人は元校長先生で、案内図や標識の設置に尽力したと言う。現在でも船越地区の人が年に一度登って、山頂でお祭りを続けているそうだ。ご子息は年に数回登山道(本道)の整備も行うが、我々が登った焼

却炉からの道は歩く事がないようだ。



下る（本道、参詣道）

駐車場に帰着

今日のルート

3日後、堀会長に下見の報告書を送った。

（記：沖崎）

行動タイム

09：20 南伊勢病院駐車場 09：30→10：27 神籠石→11：22 龍仙山
12：04→12：12 鳥居 12：22→12：46 船越分岐→13：50 南伊勢病院
駐車場